

山と海と街をつなぐ子どもエコクラブ交流会

名古屋市立庄内小学校 牧 宏

1 実践のねらい

本実践は、愛知県下の山・海・街という典型的な自然環境で活動している小学校の子どもエコクラブの交流活動の実践である。子どもエコクラブ員同士が互いの地域を訪問し合い、その地域の環境を生かした活動を共に行ったり、それぞれのクラブの活動の様子を発表し合ったりして、交流を深め、環境を守ろうとする態度や実践力を身に付けることを目的とする。

2 実践の内容

(1) 額田町立大雨河小学校での交流会（山の学校）

○日 時 8月25日（月）10:00～15:00

○参加者 約50人

○内 容

- ・上流の川での水生生物調査及び水質検査
- ・大雨河小学校エコクラブの活動報告
（パネルによる水生生物の発表、水車を使った活動、稲・野菜の栽培活動、ログハウスでの活動）



(2) 半田市立花園小学校での交流会（海の学校）

○日 時 8月29日（金）10:00～15:00

○参加者 約30人

○内 容

- ・海岸での自然観察
- ・衣浦西部浄化センターの見学

・花園小学校エコクラブの活動報告

（トビハゼの飼育及びオオムラサキの飼育）

(3) 名古屋市立庄内小学校での交流会（街の学校）

○日 時 1月11日（日）10:00～15:00

○参加者 約70名

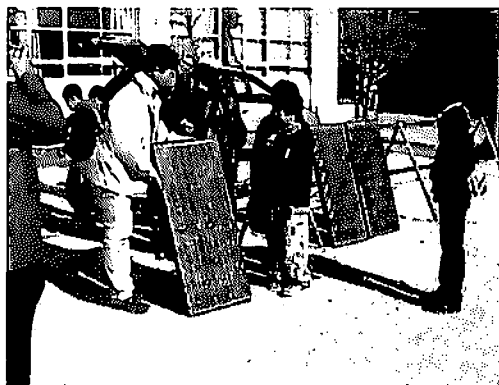
○内 容

・エネルギー・環境ワークショップラリー

（太陽光エネルギーの実験、クラフト、生ごみリサイクル、水の汚れの実験、ミミズコンポスト、フェアトレード、エコッキングを体験及び振り返りの話し合い）

・庄内小学校エコクラブの活動報告

（落ち葉や草を使った堆肥作り及びそれを利用した野菜作り、ハーブの栽培及びハーブティーの試飲、ミミズコンポスト）



3 実践のまとめ

山・海・街という自然環境の異なる地域で行っているエコ活動を互いに体験し合うことにより、子どもたちの環境に対する感じ方・考え方が広がった。また、それぞれの地域の問題に気づき、環境を守る大切さに気付いた。

地元マスコミの「中日新聞」、情報紙「RISA」が活動の様子を取り上げてくれた。また、「環境教育ミーティング中部2003」「名古屋市環境デー中央集会」でも報告を行った。以上のように、多くの人々にこの活動を知ってもらった。

今後も、このような交流活動を継続して行い、環境について考える子どもたちを育てたい。